

第 5 学年外国語科学習指導案

1 単元名 「Where is the post office」 (NEW HORIZON Elementary5 Unit5)

～場所をたずねたり答えたりしよう～

2 本時案

(1) 主眼 目的地までの道のりをたずねたり答えたりする活動を通して、道案内をすることができる。

(2) 準備 タブレット端末、道順を示すコマンドカード、スクラッチ

(3) 学習過程

学習活動・学習過程	指導上の留意点 ☆評価
<p>1 【Greeting】 挨拶をする。 曜日、月、日付、天気の確認をする。</p> <p>2 【Warm Up】 英語を聞いたり話したりする雰囲気 に慣れる。</p> <p>3 【Today's Goal】 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○いつもと同じ流れで始めることで、安心して活動にうつることができるようにする。</p> <p>○道案内に関する単語、表現を復習する。</p> <p>○リズムによってチャンツを行い、テンポを変えたり体を使ったりしながら本時の活動で使う表現に慣れさせる。</p>
<p>4 【Practice】 ・左右の確認ゲームをする。 ・目的地を伝え、たどりつくまでの手段を考える。</p> <p>5 【Activity】 スクラッチを活用して、ペアで道案内をする。 ・A が目的地までの行き方を B にたずねる。 ・B は目的地までの行き方を、声に出して案内する。</p> <p>6 【Look Back】 本時の学習を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<div data-bbox="536 1084 1326 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>① 行きたい場所をたずねたり、道順を答えたりしよう。</p> </div> <p>○目的地に応じて、最適なコマンドカードを選択することができるようにする。</p> <p>○スクラッチの操作方法を説明する。</p> <p>☆友達とコミュニケーションを取ろうとしている。(発言)</p> <p>☆A:Where is the ~の表現を使って、道順をたずねることができる。(表情、行動観察)</p> <p>B:Go straight. turn left. turn right.などの表現を使って、道案内ができる。(表情、行動観察)</p>

3 プログラミング活用場面（主に以下の2つ）

（1）道順を示すコマンドカード（アンプラグド・順序）

- ・外国語によるやり取りを活発にするために道順を示すコマンドカードを活用した。（思考が可視化されることで、考えていることが明確になり、表現がしやすくなった。）
- ・作成したコマンドカードを見ながら、発声によるコミュニケーションの場面を設定した。

（2）スクラッチ

- ・自分の指示が合っているか、正しく道案内できているかを確認した。
- ・音声を聞き、英語の表現に何度も触れた。

★スクラッチの使用手順

- ① 目的地を決める。
- ② 目的地へ行けるように道順を示すコマンドカードを使って道順を考える。（アンプラグド）
- ③ 目的地にたどり着くか、Turn right, left, Go straight のスクリプトを押して確かめる。（音声）
- ④ 元の位置に戻して活動したいときは、RESET のスプライトを押す。

4 考察

（1）成果（プログラミング学習の効果、自ら学ぶ児童の育成）

道案内コマンドを使うことによって、視覚的に物事を捉えることができた。また、指で道をなぞるだけでなく、スクラッチを活用して実際にアイコンを目的地にたどり着かせたことで、「外国語の意味がいつもよりわかった。」「人に対しても道案内をやってみたくなった。」などの感想があり、外国語の習熟に繋がったり、実生活への意欲が高まったりする結果になった。プログラミング学習を外国語に紐付けることで、英語表現に慣れ親しむことができたと考える。



このアイコンを目的地まで案内するプログラムを考える。

（2）課題

① 場面設定

今回は教師が用意した地図での道案内であった。今後は学校の中での道案内や ALT に道案内するなど、より実際のコミュニケーションに近い場面設定で、外国語科の目標を達成することができるようにしていきたい。

② ICT 技能

児童の学習効果を高めたり、教科の目標を達成したりする使用方法になっているか、ICT を使った様々な活用方法について研究を進めていく必要がある。